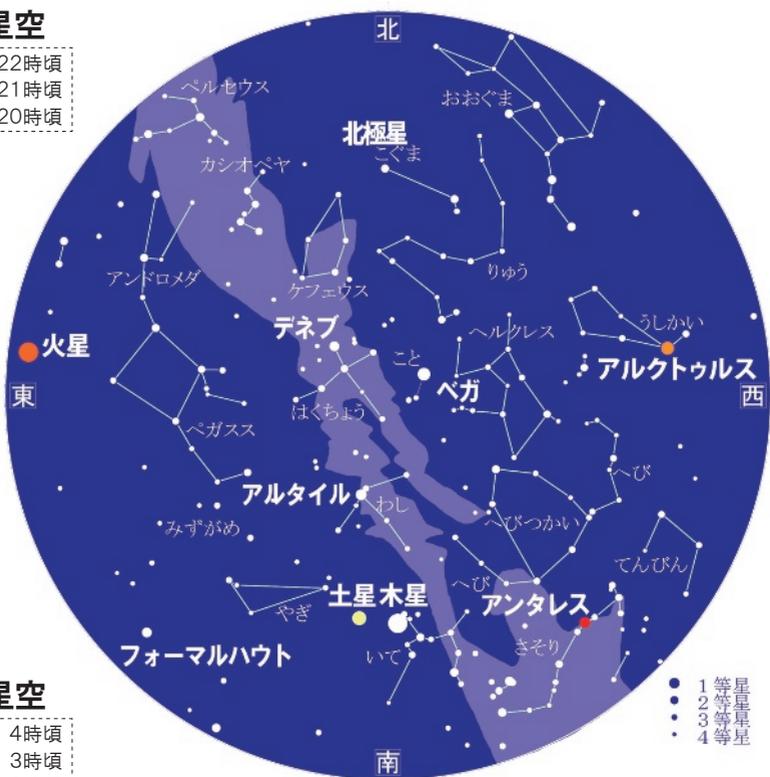


星空ガイド 8月16日～9月15日

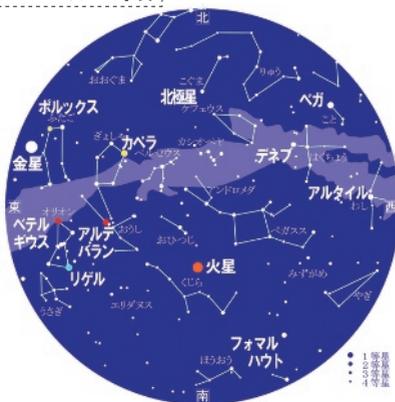
よいの星空

8月16日22時頃
9月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

8月16日 4時頃
9月1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
8	16	5:19	18:44	1:50	16:44	26.4
	21	5:22	18:38	7:24	20:19	2.0
	26	5:26	18:32	13:09	23:25	7.0
9	1	5:30	18:24	18:15	4:07	13.0
	6	5:34	18:17	20:35	8:52	18.0
	11	5:38	18:10	23:37	13:35	23.0
	15	5:40	18:04	2:40	16:57	27.0

※惑星は2020年9月1日の位置です。

まだまだ、木星と土星を楽しもう！ そして火星も…

先月号(うちゅう7月号)でも、木星と土星をご紹介しましたが、まだまだ南の空で明るく目立っています。8月28日から30日にかけては、これらの惑星と月が近くでならんで光ります(図1参照)。木星と土星は夜空でだんだん近づいており、年末頃には、夕空西の空で非常に接近したようすを見ることができます。



図1. 8月下旬夜9時ごろの空
(ステラナビゲータ10で作図)

また今の時期、夜10~11時になると、東の空に火星ものぼってきます。現在マイナス2等級ほどと、だいぶ明るくなってきました。地球に最接近する10月6日はマイナス2.6等級、さらに明るくなります。

明け方の金星とプレセペ星団の接近

9月13日の明け方に金星とプレセペ星団が接近します。双眼鏡で見ると、明るい金星のそばに暗めの星が10個~20個ほど集まっているのがわかります。それがプレセペ星団です。

プレセペ星団は、かに座にある散開星団で、200個以上の星が集まっています。金星との最接近は13日ごろですが、10日ごろから17日ごろにかけて双眼鏡の同一視野内に見ることができます。

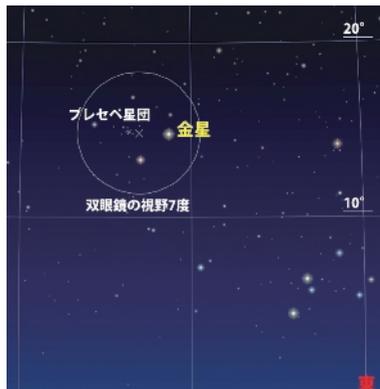


図2. 9/13午前3時30分ごろの空
(ステラナビゲータ10で作図)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
8	16	日	明け方に月と金星がならぶ
	19	水	●新月(12時)
	21	金	月が最近(363,500km)
	23	日	処暑
	25	火	旧七夕
	26	水	●上弦(3時)
	29	土	準惑星ケレスが衝 月と木星・土星がならぶ
	31	月	二百十日

月	日	曜	主な天文現象など
9	2	水	○満月(14時)
	6	日	月が最遠(406,300km)
	7	月	白露
	10	木	●下弦(18時)
	12	土	海王星が衝
	13	日	金星とプレセペ星団が接近
	14	月	明け方に月と金星がならぶ

西野 藍子(科学館学芸員)